



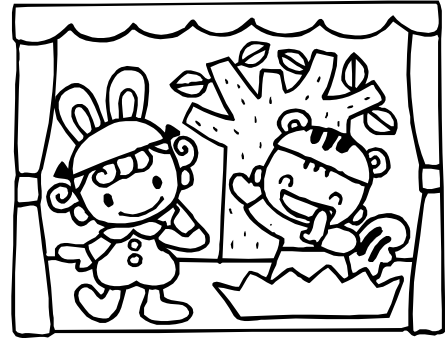
2020.12.18

ひなご幼稚園園長 神戸洋美

ご協力に感謝

去る14日・15日・17日の3日間、無事に遊戯会を開催することが出来ました。最終日のクラスには、前日の雪からの道路凍結により幼稚園の開始時間が1時間遅れとなり、ご迷惑をおかけしましたこと心よりお詫び申し上げます。

新型コロナ感染者数の増加により、どのような開催の形が望ましいのか、色々と方法を探りました。一番悩んだのが、どのような形で観ていただくか、という事でした。「3密」を避けるために、実際にホールで職員全員が座って、どれくらいの間隔が良いのか測り、床席と椅子席の位置が平等になるのはどんな方法があるか、時間短縮のためにはどうするかなど、職員全員で様々な角度から方法を探り、悩みに悩んで今回の進め方にたどり着きました。



とにかく感染予防対策を心がけ、保護者様の交代時には窓を開けて換気を行い、床も椅子もアルコール消毒を行いました。演技をする子どもたちの立ち位置や方向なども考慮し、楽器を持たせる時は必ず手のひらを消毒してから、と徹底して感染予防対策に努めました。

コロナで大変な思いをして迎えた遊戯会でしたが、プラスの面もあったのです。着替えのお手伝いをしていただいたことで親子のスキンシップができ、その上あっという間に次の演技を始めることができ時間短縮につながったこと、観客数が少ないことで静かに観ていただき、子どもたちの声が後ろまでしっかり届いたこと等、例年の遊戯会では見られない良いこともたくさんありました。

寒い中でお待ち頂いたり、何度も座席を移動して頂いたりとお世話だったと思いますが、保護者様のご協力により無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。



自分に出来る事で

今年は連日、ニュースのトップは必ず「新型コロナウイルス関連」の話題で、12日には1日の国内感染者数が初の3000人を超え、医療現場の苦闘が連日伝えられています。海外ではワクチン使用が始まり、ワクチン導入でコロナの流行が収束し、社会・経済の正常化に向かうことが期待されていますが、日本での収束にはまだまだ時間がかかるようです。

愛知県内でも感染者数が増えてきて、幼稚園の周囲にもじわじわと迫ってくる感覚があります。小学校で感染者が出て臨時休業となり、下のお子さんの対応をどうしたら良いのか、というご相談も受けるようになりました。

先日、TVの番組で「なぜ学校内で感染が広がらないのか」という特集が放送されました。今、感染率が最も高いのは家庭内感染で73%、学校内での感染はわずか6%に抑えられています。その成果は家庭と連携した健康観察やマスクの着用、手洗い、教室の換気、そして3密を避けるという「子どもたちの地道な継続、地道な感染対策」で、「学校の新しい生活様式」に取り組んでいるからと結論付けていました。

インタビューを受けた子どもたちが口を揃えて言った言葉。「もう休校は嫌だ。友だちと会えない。ずっと家の中でつまらない。」だからこそ、子どもたちは柔軟性と素直さを持って、コロナと闘っているのです。学校も子どもたちを守ろうと必死で感染予防対策を行っています。しかし、いざ学校内で感染が起きてしまうと、保護者に広がっていくのは学校に対する不信感や根拠のない噂ばかりで、学校も感染してしまった家族も患者扱いとなってしまうのが現状です。心ならずもコロナに感染という被害に遭われた方々のために、自分に出来ることを、と県議会の委員会で質問いたしました。別紙で内容を紹介いたしましたのでご一読いただければと思います。

幼稚園でもこの先、学校と同様のことが起こるかもしれません。しっかりと感染予防対策に努め、万が一の時は的確な対応と正しい情報で混乱しないよう努めてまいりますので、ご理解をお願い申し上げます。